

一般質問



こどもの育ちに関する 支援について



無会派 ● 曾我部 一帆 議員

問 こどもの居場所と質の向上について。

答 家庭や学校以外のこどもの居場所としては、学童保育所や児童館、習い事などのほか、地域で行われているこども食堂やらくらく勉強会などの学習支援の場、まちづくりセンターや自治会館などを利用した地域でのこどもたちの見守り支援などがあり、今年度は市の委託事業も含めた夏休みのこどもの居場所事業も実施していただきました。他に市が把握できていないこどもの居場所もあるため、まずはこどもの居場所づくりを実施される団体には、市に登録していただく体制を整えてまいりたいと考えています。質の向上については、令和5年度に「湖南市こどもの居場所づくりトリセツ」という運営の参考となるマ

ニュアルを作成し、区で回覧していただきました。今後は団体の登録をしていただく体制を整え研修会を実施したり、運営団体が相互に情報共有・連携していただき中身の部分を充実させていけるようサポートする体制を整備してまいります。こども計画策定におけるニーズ調査やワークシヨップを経て、多様なこどもの居場所のニーズと必要性を確認しており、支援をすすめるためこどもの居場所づくり事業費補助金を令和7年度予算に計上させていただいております。今後も声を聴く機会を設け、施策に反映してまいりたいと考えております。

◎その他、こどもの医療費と相談窓口や体制について質問しました。



自治体基金の運用について



無会派 ● 松原 栄樹 議員

問 湖南市の基金運用状況について。

答 令和6年度末において、19基金があり、約104億円を保有しています。湖南市公金の管理及び運用に関する基準に基づき、安全性、確実性及び流動性並びに効率性を考慮した管理・運用に努めています。

令和2年度から10年債の滋賀県債を1億円で10年間毎年購入する予定で、令和6年度末で4億5千万円となっています。そして、西日本高速(株)が発行した5年債を5億円で購入し、9億5千万円による運用で令和6年度の運用収入は約400万円です。

定期預金として1年定期28億円、3カ月定期1億円の29億円で、令和6年度の定期

による運用収入は約320万円です。

令和6年度の基金運用額は38億5千万円で、運用収入は約720万円です。

問 市場金利上昇による対応と今後の目標は。

答 定期預金・債券は、流動性・効率性において一長一短がありますが、景気や金利の動向を注視し、安定的な財源確保できる基金運用に努めます。

図書館について

問 図書館の目的と役割は。

答 住民の知的自由を支え、知識と教養を社会的に保証する、地域住民の生涯学習を支える社会教育施設であり、読書によって論理的な思考力や想像力が培われ、知識や教養を万人のものにするためにあるものと考えます。